

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

| |
|--|
| <p><研究課題名> 低左心機能合併心房細動に対するカテーテルアブレーションの有効性の検討</p> |
| <p><研究機関・研究責任者名> 北里大学病院 循環器内科 (研究責任者) 岸原 淳 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 永嶋 孝一</p> |
| <p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2020年12月31日</p> |
| <p><研究の目的と意義> 近年、心房細動に対するカテーテルアブレーションは、多くの患者さんに行われています。ただ心臓の機能が保たれた発作性心房細動患者さんには極めて有用であるものの、心不全をもっている患者さんへの心房細動アブレーションの予後改善効果は、我が国では明らかになっていません。そのため、心不全の患者さんへの予後改善効果や心機能改善効果を観察します。またこの研究により、今後どのような心筋症による心不全をもった患者さんに対して、カテーテルアブレーションが有効かを明らかとします。</p> |
| <p><利用する試料・情報の項目> カルテ情報：診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、生活歴、身体所見、血液検査、心臓超音波検査、内服内容、治療内容です。</p> |
| <p><対象となる患者さん> 西暦2014年4月1日～西暦2018年12月31日の期間に当院循環器内科で心房細動に対してカテーテルアブレーション治療を受けた方</p> |
| <p><研究の方法> 上記の期間で、心房細動に対してカテーテルアブレーションを施行した心臓の機能が低下した患者さんに対し、通院時の検査結果を登録し、統計解析を行います。本研究のために特別に追加する検査はありません。</p> |

<外部への試料・情報の提供等>

北里大学との共同研究です。ただし、データの提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
対応表は、永嶋が保管・管理します。

<研究組織>

北里大学病院 循環器内科 (研究責任者) 岸原 淳

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 永嶋 孝一

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科 氏名: 永嶋 孝一

電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2 4 1 2 (PHS) 8 1 4 2

日本大学医学部附属板橋病院 (ver. 1705)